

1 基本項目	事務事業名	水族館施設整備事業				担当部署	課等名	水族博物館	
	予算事業名	施設整備事業					係名	管理係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	平成20年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水族館事業特別会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				総合計画 主な事業	款	水族館費
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり					項	水族館費
		施策名	施策30. 生涯学習の推進					目	水族館管理費
		基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実					総合戦略との関連	記載あり(評価対象)
	根拠法令					集中プランとの関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況								

2 事業概要	事業概要	水族館施設の大規模な施設改修事業	
	対象	①入館者②魚津水族館館内設備	
	手段(活動指標)	大規模な整備に関する施設改修工事	
	意図(成果指標)	効果的な改修を行い、4代目水族館建設まで、安定運営を図る。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	①年間入館者数	人	148,613	149,067	150,000	152,815	101.9%	150,000
	②							
成果	①入館者の前年対比	%	97.7	100.3	100.0	102.5	102.5%	100.0
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	11,145,600	9,484,560	12,400,000	12,239,640	29.0%	12,925,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	11,145,600	9,484,560	12,400,000	12,239,640	29.0%	12,925,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	800	700	1,100	1,100	57.1%	1,100
	③人件費(②×@ 4,012円)(B)	円	3,209,600	2,808,400	4,413,200	4,413,200	57.1%	4,413,200
総費用(A+B)	円	14,355,200	12,292,960	16,813,200	16,652,840	35.5%	17,338,200	

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ○動カトランス取替工事 ○深海水槽濾過槽更新工事 ○サンゴ水槽改修工事 ○アマモ場コーナー改修工事 ○湧水槽排水ポンプ取替工事 ○滝系統ポンプ取替工事 ○低濃度PCB含有トランス廃棄委託 	

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	
有効性	A	A	特に問題なし	②目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	B	A	特に問題なし	③対象の妥当性	1 妥当である		
				①目標達成度	1 高い		
				②類似事業の有無	1 なし		
結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	③上位施策への貢献度	1 高い		
				①コスト効率	1 高い		
				②実施主体の適正化	1 適正である		
1 次評価	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	現状においては、計画を立てても、金額が大きすぎて、実施できない修繕が多い。与えられた予算内で優先度を考えて修繕工事を行っており、突発的に生じる修繕は補正対応している。今後、営業に支障のある大きな修繕が生じる可能性が高くなっている。	③負担割合の適正化	1 適正である	
					2 次評価	不要	

1 基本項目	事務事業名	水族館企画展事業			担当部署	課等名	水族博物館	
	予算事業名	企画展事業				係名	飼育研究係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度		当面継続	予算科目	水族館事業特別会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち			会計	款	水族館費
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項	水族館費
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	水族館管理費
		基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令				総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	担当者が世間情勢を考慮しながらテーマを選び、ファミリーウムを中心に年に数回開催する。
	対象	来館者
	手段(活動指標)	春の企画展、ホタルイカ展示、シロエビ展示、夏の企画展、ハロウィン特別展示、クリスマス特別展示
	意図(成果指標)	企画展を通して、入館者は生物に対して興味がわき、知識が増える。

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① 企画展の実施回数	回	6	6	6	6	100.0%	6
	②							
	① 年間入館者数	人	148,613	149,067	150,000	152,815	101.9%	150,000
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	1,548,463	1,463,207	1,989,000	1,501,918	2.6%	1,801,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	1,548,463	1,463,207	1,989,000	1,501,918	2.6%	1,801,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	1,960	1,960	2,260	2,260	15.3%	2,260
	③人件費(②×@ 4,012円)(B)	円	7,863,520	7,863,520	9,067,120	9,067,120	15.3%	9,067,120
総費用(A+B)	円	9,411,983	9,326,727	11,056,120	10,569,038	13.3%	10,868,120	

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○春の企画展「トンボ展」</p> <p>○夏の企画展「カエル展」</p> <p>○シヲリさんのお絵かきぬり絵教室 4/21・22</p> <p>○魚津出身の似顔絵師ろーにーさんの似顔絵教室 7/15・16</p> <p>○紙アクアリウム</p> <p>○ハロウィーン特別展示：富山湾大水槽をサポーターによる飾りつけを行った</p> <p>○クリスマス特別展示：富山湾大水槽をサポーターによる飾りつけを行った</p>	

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	
有効性	A	A	特に問題なし	②目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	A	A	特に問題なし	③対象の妥当性	1 妥当である		
				①目標達成度	1 高い		
				②類似事業の有無	1 なし		
結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	③上位施策への貢献度	1 高い		
				①コスト効率	1 高い		
				②実施主体の適正化	1 適正である		
1 次評価	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	「うおすいファミリーウム」を活用し、親子等の家族、特にイクメンをターゲットにした企画展やイベント等を行うことにより、年パス利用者を勧誘したい。	2 次評価	不要	

1 基本項目	事務事業名	水族館博物館事業			担当部署	課等名	水族博物館	
	予算事業名	博物館事業				係名	飼育研究係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水族館事業特別会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	水族館費
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり			項	水族館費	
		施策名	施策30. 生涯学習の推進			目	水族館管理費	
		基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実			総合計画主な事業		
	根拠法令				総合戦略との関連			関連なし
	アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連			関連なし

2 事業概要	事業概要	①水族館の常設展示生物の飼育・展示 ②調査研究 ③普及活動に関わること
	対象	①常設展示生物 ②入館者 ③普及活動
	手段(活動指標)	①水族館の常設展示生物の飼育・展示 ②調査研究 ③うおづ水辺の調査隊活動等
	意図(成果指標)	①水族館の展示生物をよい状態で飼育・展示ができる ②調査研究の結果を年報やホームページで公表する ③普及活動により、水生生物に対する理解が向上する

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 展示生物	点	10,000	10,000	10,000	10,000	100.0%	10,000	
	② 調査研究数	件	3	3	3	5	166.7%	5	
	成果	① 本年度展示生物数/前年度の展示生物数	%	123	100	100	100	100.0%	100
		② 論文・報告発表数	数	5	8	5	7	140.0%	5

4 コスト情報	区分	単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	8,837,925	10,688,950	9,369,000	8,608,479	-19.5%	9,819,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	8,837,925	10,688,950	9,369,000	8,608,479	-19.5%	9,819,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	4
	②年間所要時間	時間	2,460	2,460	2,560	2,560	4.1%	2,560
	③人件費(②×@ 4,012円)(B)	円	9,869,520	9,869,520	10,270,720	10,270,720	4.1%	10,270,720
総費用(A+B)	円	18,707,445	20,558,470	19,639,720	18,879,199	-8.2%	20,089,720	

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○ホタルイカ展示 ○ホタルイカ発光実験開催 ○夏のマツカサウオの光を見てみよう! ○アウチリーチ活動 ○プールの生き物救出作戦 ○水槽クリニック：市内小学校に配布したメダカの確認と調整 ○魚津市内及び県内の生物調査を行った。</p>	

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	A	A		計画どおり事業を実施することが適当	不要	
6 評価	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	
	有効性	A	A	特に問題なし	②目的の妥当性	1 妥当である	
	効率性	A	A	特に問題なし	③対象の妥当性	1 妥当である	
1 次評価	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	博物館事業は水族館の命であり、この部分の充実に力を入れるのは欠かすことができない。恒常的な展示更新や話題性のある生物展示、普及活動などを行って、情報を発信することで、魚津水族館の魅力アピールしたい。またサポーター活動をより充実して、新たな活動につなげていきたい。	①目標達成度	1 高い	
					②類似事業の有無	1 なし	
					③上位施策への貢献度	1 高い	
					①コスト効率	1 高い	
					②実施主体の適正化	1 適正である	
					③負担割合の適正化	1 適正である	